

こんにちは 庄内町議会

No.38
12月議会号
26.1.20



もう一丁来〜い

写真提供 フォトグラファー tetsu さん

- 2人削減16人 ————— 〈条例〉 2
- 貸オフィスリニューアル ————— 〈補正予算〉 4
- 町政を問う ————— 〈一般質問〉 6
- 子どもたちの議会傍聴 ————— 〈特集〉 18

千河原 やや祭り



地域の課題 解決のために



議長 富樫 透

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さんにおかれましても、新たな想いで新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、議会では「見える議会づくり」、「総合力の向上」を目指して議会基本条例をもとに、常任委員会強化による政策提言ならびに検証、「町民と語る会」をはじめ各種団体との広報・広聴活動、倫理条例や災害時の行動指針などの活性化のための体制整備を実施してまいりました。

おかげさまで、昨年は議会広報が評価され日本一に輝くことができました。広報の評価もあり、全国から過去最多の28議会、238人の視察を受け入れ、地元で居ながらにして全国の先進的な取り組みを学ぶことができたと思っております。

早いもので、庄内町も合併10年目を迎えます。合併特例債の延長を視野に、各種計画の見直しや、国の動向、地域課題を見据えた的確な判断が、議会にも求められています。議員個々の研鑽によって議会活動を向上させるとともに、地域に密着した議員活動の活性化が地域課題の解決につながると思います。

町民の皆さんの付託に応えられるよう一人ひとりが、職責を自覚し「議会活動」、「議員活動」に邁進してまいりますので、本年もよろしくお願いたします。

要約筆記

「ぼんけの会」
「やまびこ」の協力で

恒例となった、年2回の要約筆記を12月13日に実施しました。

当日は、栄寿大学の皆さん17人と、社会福祉協議会関連の皆さん14人が傍聴しました。

発言・答弁がスクリーンに素早く映され「わかりやすかった」と好評でした。

○要約筆記ぼんけの会

菊池みつ子(代表)

齋藤志保子

阿部 恵里

○要約筆記の会

柿崎 明子(代表)

日下部恵子

やまびこ



生声ひろば

女性消防団班長 小林 由紀子

庄内町女性消防団は昨年10月の全国女性消防操法大会に出場しました。2年間、団員同志支えあい、励ましあいながら厳しい訓練を乗り越え、全国大会で熱い涙を流せた喜びは生涯忘れることのない素晴らしい思い出となりました。ご支援、ご指導いただいた皆様から感謝いたします。

今年初の試みとして上級救急救命講習の受講を計画しています。それから、幅広い年代の方々を対象とした、体操や歌で分かりやすく火災予防の啓発活動

現在、女性消防団の団員募集中です。地域防災において女性の活躍の場は年々増えていきます。地域の安全安心は、一人ひとりの踏み出す一歩から始まります。ご応募お待ちしております。



議長	富樫 透
議会広報常任委員会	
委員長	小野 一晴
副委員長	石川 武利
委員	上野 幸美
委員	五十嵐 啓一
委員	齋藤 秀紀
委員	榎本 秀将

消費税8%を反映



広域下水道

平成26年4月1日から消費税が8%になることから、主な使用料に増税分を反映するために条例を改正しました。

庄内町農業集落排水料金
賛成14 反対2で可決

庄内町下水道料金
賛成14 反対2で可決

○農業集落排水、下水道とともに基本料金10立方メートル1千470円から1千512円に値上げ

○同じく10立方メートルを超える分(1立方メートル)153・3円から157・68円に値上げ

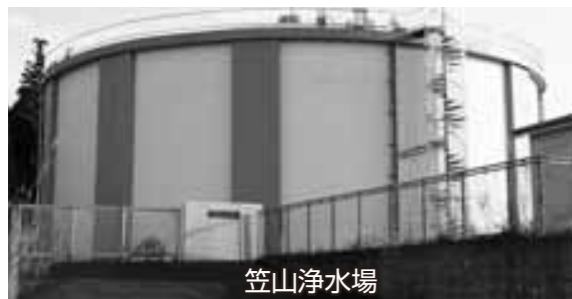
○温泉汚水の下水道料金1立方メートルにつき64・8円(新規)



立谷沢北部簡易水道水源池

区分	金額(1世帯1箇月につき)	
	旧	新
瀬場簡易水道	2,940円	3,024円
大中島簡易水道	3,255円	3,348円
工藤沢簡易水道	2,310円	2,376円
科沢簡易水道	2,100円	2,160円
木の沢簡易水道	945円	972円
中村簡易水道	3,255円	3,348円
鉢子簡易水道	2,205円	2,268円
松肝簡易水道	1,155円	1,188円
立谷沢北部簡易水道	3,255円	864円

庄内町簡易水道料金
賛成14 反対2で可決



笠山浄水場

メーターの口径別等	基本料金		1箇月につき	
	旧	新	従量料金(使用水量1立方メートルにつき)	
	旧	新	旧	新
13ミリメートル	1,050円	1,080円	99円	102.6円
20ミリメートル	1,680円	1,728円	219円	225.72円
25ミリメートル	2,310円	2,376円	224円	231.12円
40ミリメートル	6,510円	6,696円	224円	231.12円
50ミリメートル	12,810円	13,176円	242円	249.48円
75ミリメートル	21,210円	21,816円	483円	496.8円
催芽・育苗ハウス用	—	—	—	—
臨時用	—	—	—	—

庄内町水道料金
賛成13 反対3で可決

旧			新				
区分	単位	金額	区分	単位	金額		
食のアンテナレストラン	1月	60,000円	食のアンテナレストラン	1月	60,000円		
6次産業化貸工房1	1月	20,000円	6次産業化貸工房1	1月	20,000円		
6次産業化貸工房2	1月	15,000円	6次産業化貸工房2	1月	15,000円		
6次産業化貸工房3	1月	15,000円	6次産業化貸工房3	1月	15,000円		
6次産業化貸工房4	1月	20,000円	6次産業化貸工房4	1月	20,000円		
6次産業化共同利用工場	加工調理室	4時間	2,000円	6次産業化共同利用工場	加工調理室	4時間	2,000円
	製粉室	1時間	500円		製粉室	1時間	500円
	野菜等乾燥室	1時間	300円		野菜等乾燥室	1時間	300円
貸オフィス1	1月	貸オフィス1-1	1月	52,000円			
		貸オフィス1-2	1月	52,000円			
		貸オフィス1-3	1月	52,000円			
		貸オフィス1-4	1月	41,000円			
貸オフィス2	1月	138,000円	貸オフィス2	1月	138,000円		
貸オフィス3	1月	330,000円	貸オフィス3	1月	326,000円		
貸オフィス4	1月	240,000円	貸オフィス4	1月	236,000円		
庄内なんでもバザール	1月	20,000円	庄内なんでもバザール	1月	20,000円		
カフェコーナー	1月	25,000円	カフェコーナー	1月	25,000円		

新施設への対応

まちなか温泉の指定管理者を決定

庄内町まちなか温泉の指定管理者の指定
指定管理者 株式会社 イグゼアまるめ
代表取締役 佐藤 一良
賛成16 反対1で可決

新産業創造館の使用料を変更

これまでの施設の使用料のうち貸オフィスを小区画化し、入居者が利用しやすい環境を整備するため、使用料を新たに設定しました。

賛成14 反対3で可決

2人削減16人

条例

このように決めました



議員定数を考えるシンポジウム

専門家に学ぶ

庄内町議会議員の定数を定める条例を改正

賛成14 反対2で可決

議員定数等調査特別委員会の調査報告書にもとづき、庄内町議会議員の定数を減らすとともに常任委員会の構成を変更しました。

議員定数
18人から16人とする。

常任委員会の構成
4常任委員会から3常任委員会とする。

議長は常任委員会に所属しない。

総務文教厚生常任委員会
定数8人

産業建設常任委員会
定数7人

議会広報常任委員会
定数6人

議会広報常任委員は、他の2常任委員会と兼務します。

討論

反対討論

日下部 勇一

賛成討論

石川 保
榎本 秀将

議員定数を18人から16人に削減する提案には、以下の理由で反対である。

- ① 共産党の町民アンケートで2人削減に賛成42%、反対50%、わからない8%である。
- ② 削減で地域の声が届かなくなる。
- ③ 常任委員会が、4委員会から3委員会になることで調査機能が低下する。
- ④ 議会の改革・活性化に逆行する。
- ⑤ 今回提案されなかったが、関連する報酬額の改定は第三者機関に問うべきである。

今回の条例の改正については、議員定数等調査特別委員会の調査報告書にもとづき、議員定数を現行の18人から16人に減ずるとともに、定数の改正にともなう常任委員会構成の整備を図るものである。

いろいろな意見があったが、最終的には委員会調査報告書を認めたのはわれわれ自身である。

この提案は、さらなる議会改革、議会活性化、開かれた議会に資すると確信して賛成する。

12月定例会は、12月10日から18日まで開催され、各会計の補正予算、条例、指定管理者の指定を原案どおり可決しました。

一般質問では、17人の議員が町政全般について町当局の考えを質しました。

つや姫効果あり ふるさと応援寄附金増加



自慢の逸品

寄附金の増加631万円
庄内町ふるさと応援寄附金記念品239万円

一般寄附金523万円、
教育費寄附金93万円、
土木費寄附金15万円の
計631万円の追加寄附が
あったため、それに伴
う寄附者への謝礼品239
万円(寄附額の約半額)
を追加するものです。

12月20日現在1千600
万円(前年比5倍)の寄
附がありました。謝礼
品の多くは「つや姫」希
望であり、つや姫人気
の後押しで納税希望者
が増加したと思われま
す。

..... 以上が補正予算です

請願

地方の声を聞いて下さい

- 1 新聞の軽減税率に関する請願
- 2 平成26年4月からの消費税増税延期を求める意見書提出に関する請願

1 新聞の軽減税率に関する請願

請願者 山形新聞余目専売所 大川 幸清
狩川専売所 奥山 利勝

軽減税率の通用を求める意見書

平成24年8月に成立した「社会保障と税の一体改革法案」について、政府は法律どおり平成26年4月1日から消費税を5%から8%へ引き上げる決断をした。さらに、平成27年10月には10%に引き上げる予定となっている。

この増税において、生活必需品や最低限の文化的生活必需品に「軽減税率」の適用を図ることは逆進性対策となり、さらに国民の消費税に対する理解を得るためにも必要な制度である。

ついては、消費税増税に際し、「軽減税率」を適用することを強く要望する。

内閣総理大臣
財務大臣
賛成13 反対4で可決

2 平成26年4月からの消費税増税延期を求める意見書提出に関する請願

請願者 消費税廃止鶴岡・田川地区界連絡会 菅原 健一

国民の多くは景気回復を実感しておらず、雇用情勢や個人消費も厳しい状況にあります。この不況下で税率を上げれば、国民の消費はさらに落ち込み、地域経済は大打撃を受けます。

ついては、26年4月からの消費税の増税を延期することを強く求める。

賛成5 反対12で不採択

不採択理由

請願の趣旨は妥当であり、十分に理解できるが、残された時間を考えると、実現の可能性が低いため不採択とする。

正算 補正

既存財フイリニューアル

このように決めました

一般会計補正予算1億1千579万円 賛成14・反対2で可決

企業誘致に向け分割

新産業創造館貸オフィス改修工事

267万円

この工事は、オフィス1(雑品庫)を4分割することで、より利用しやすく起業創業促進するための改修です。

新産業創造館(クラッセ)の新オフィスと合わせ雇用の創出が期待されます。

3ページにおいて料金を設定しています。

クラッセの案内標識

新産業創造館案内標識設置工事

495万円

この工事は、新産業創造館(クラッセ)への案内のために、町内4カ所に案内標識を設置するものです。

- 設置場所
- 跡西畑地内
- 町農協
- ライスセンター付近
- 鶴岡信用金庫交差点
- 余目矢口地内



少数精鋭企業 いらっしやい

災害復旧 即対応

林道宇津野線

災害復旧工事

2千580万円

この工事は、狩川地内(マープ月山の付近)の林道法面復旧工事で延長51mとなります。

林道松木沢線

災害復旧工事

1千178万円

この工事は、狩川地内(東興野付近)の林道で橋の修復と前後18mの林道復旧工事となります。

町政を問う

一般質問




日本一おいしい米コンテスト

一般質問とは…

議員が行財政全般にわたり、町当局に対し事務の執行状況、将来における政策方針等をただしたうえで、政策提言することです。

問 北月山荘再生
エネルギー等設備設置実施設計委託に伴う入札が行われ、落札価格は295万円で町の予算額940万円の約31%で落札された。町の予



五十嵐 啓一 議員

北月山荘 予算に整合性はあるのか

町長 予算計上に誤りはない



一望に見渡せる景観が大事

町長 実施設計業務委託の予定価格は、国の基準に基づき積算している。また、低入札価格調査基準額の必要もなく、予算計上に誤りはないと判断している。

問 今回設置される太陽光発電は

積雪や落雪の影響を受けずに発電するのか。機械建屋の建設により、休憩室からの眺望がさえぎられないのか。町民の税金を有効に活用し、皆さんから喜んでいただける事業なのか。再度検討する余地はないのか。

町長 太陽光発電は積雪を考慮、機械建屋南側の地上5m以上の所に垂直に設置し、反対側に落雪する設計を考えている。機械建屋の建設により、休憩室からの眺望を若干さえぎることになるが、浴室からの眺望には支障のない場所を選定した。

今回導入する設備は再生エネルギーを進める国の補助事業として採択されており、内容変更は不可能と判断している。

清川歴史公園構想 今後どうする

町長 地域の意見を聞き検討する



吉宮 茂 議員

問 「清川歴史公園構想」は、清川地区振興協議会や、地域団体代表による策定委員会が検討を続け報告されたものである。その骨子は、旧清川小

町長 清川歴史公園構想に沿った形でどのように実現できるか、総合計画に明確な位置付けをしながら学校の解体を急ぎ、その跡地を地域の歴史や文化の拠点として、地域住民が寄り合える活動拠点の施設整備を求めている。町は、今後どう取り組んでいくのか。



清河八郎記念館の機能ももたせたい

問 旧清川小学校解体の財源を含めた実現性はどうか。

町長 解体は、国の方で有利な財源を検討しているようだ。過疎債も含めて、その動きを注視していきたい。

農業政策 農家への周知図れ

町長 資料等作成しながら説明する



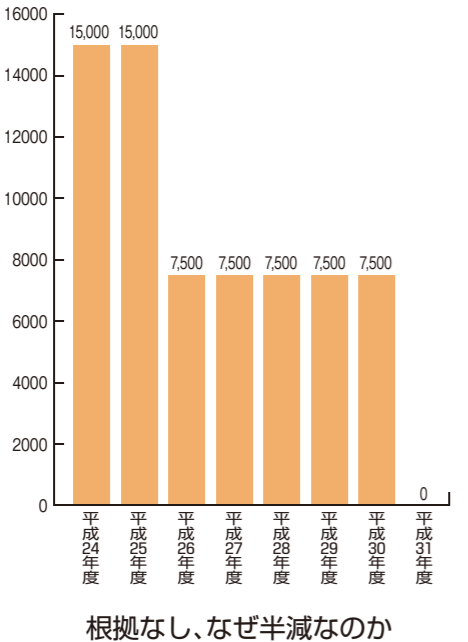
齋藤 秀紀 議員

問 国の水田農業政策については農水省が示した経営所得安定対策の見直しと日本型直接支払制度の

町長 国の水田農業政策が大きな転換を講じるべきと思う。創設がある。この政策は、米の直接支払交付金の半額、米価変動補填交付金の廃止などで農家所得の低下が決定的事であることから、平成26年度に向けての対策を講じるべきと思う。

問 的確な情報提供は生産組合長会には当然であるが、末端の農家への周知は口頭での説明が必要と思うがどうか。

町長 今後示される具体的な情報は、断片的でなく分かりやすい資料等を作成しながら生産組合に説明していく。



町政が聞きたい

五十嵐啓一 議員・齋藤秀紀 議員

17人の提言

吉宮 茂 議員

旧清川小学校 早期に解体せよ 財源も含め検討する



齋藤 健一 議員

問 本町には使用しなくなった町有普通財産（建物）が15件あるが、老朽化が進み

危険な状態や環境悪化になっている。特に、旧清川小学校は瓦が滑落し人身事故や漏電による火災事故も懸念される。緊急性を要し早期に解体すべきである。その場合、校舎内に明治天皇が行幸した行在所があるが、保存または解体の検討はしているのか。



行在所をどうするかが解体の力ギ

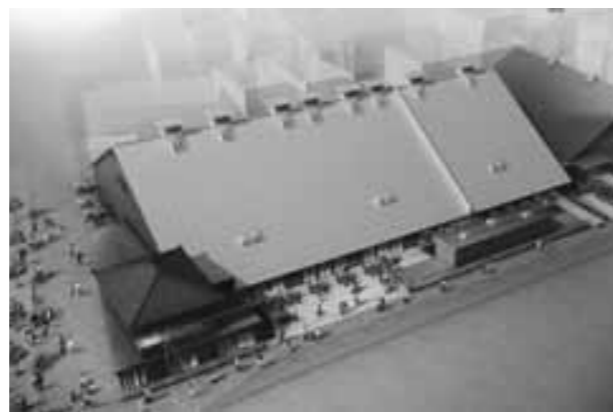
町長 旧清川小学校の解体には相当の経費がかかる。現在の解体に対する補助金等はないが、今後、有利な起債が認められる見込みであり、そのことを想定し、準備を進めている。行在所は傷みが激しく修繕にはかなりの経費がかかる。現状のまま残すのが難しいければ、解体保存することが可能かどうか検討している。

問 旧清川小学校 プールは、排水が不完全で夏に蚊が大量に発生し、地域住民から毎年苦情が出ている。早急に対応すべきである。

町長 プールの底に直径10cm程度の穴を開け地下浸透させたが、効果はあまりなかった。今後、専門家の意見等も取り入れ、予算も含めて対応していく。

新産業創造館 若人を巻き込んだ事業展開せよ

町長 町の活性化につなげていきたい



生まれ変わる駅前倉庫



押切 のり子 議員

問 新産業創造館は、整備目的にある「人を呼び込む魅力づくり」で、町を活性化させるものと思われる。今、「学校・町・企業」

がコラボレーションし高校生が地域食材を利用したレストランや、スイーツづくりの企画から商品開発に取り組み、町おこしに成果をあげている地域がある。庄内総合高校の存続が危ぶまれている時、高校生や若い人達が地域に根ざすための人材育成や高校の魅力につながるような施設利用を図るべきと思うがどうか。

町長 庄内総合高校がどのようの魅力ある学校になっていくかということが、町の活性化に大きく関わっている。そういった面では、庄内総合高校自体も危機感を持って町と一緒に仕事をし、あるいは勉強に絡めていくという姿勢をとっている。そのなかで、町としてもできる限り一緒に知恵を出し合いながら学校の存続も含めて町の活性化につなげていくことを考えていきたい。

地域おこし協力隊 今こそ起用せよ

町長 継続的に検討していきたい



地域で活動する地域おこし協力隊（遊佐町）



上野 幸美 議員

問 新産業創造館事業をはじめ、新規事業がスタートする今、各課を越えた連携関係団体の協力体制が求められる。それらの役割として地域課題に行

政の枠を外れたところから携わり、地元へ活力を創り出す総務省の人材派遣事業「地域おこし協力隊」を起用してはどうか。この事業は、財源措置があり、その後の定着率も高い。県内でも年々受け入れ市町村が増加している。本町に応募した若者たちとの関わりで、地元の「気付き」を生み、地域づくりの活力にしてはどうか。

町長 現在、「地域おこし協力隊」に関する各種研修会等に担当職員が参加し、情報収集している。県内では18の市町村が地域おこし協力隊を受け入れている。隊員の受け入れ目的、その活用内容はさまざまな状況のようである。町の地域活性化を図るための一つの手法として、地域おこし協力隊制度を活用したいという基本的な考え方は持っている。町として、具体的にどのような活動、方法が一番望ましいか、継続的に検討していきたい。

施設利用

町長 それぞれの魅力づくりが重要



清野 等 議員

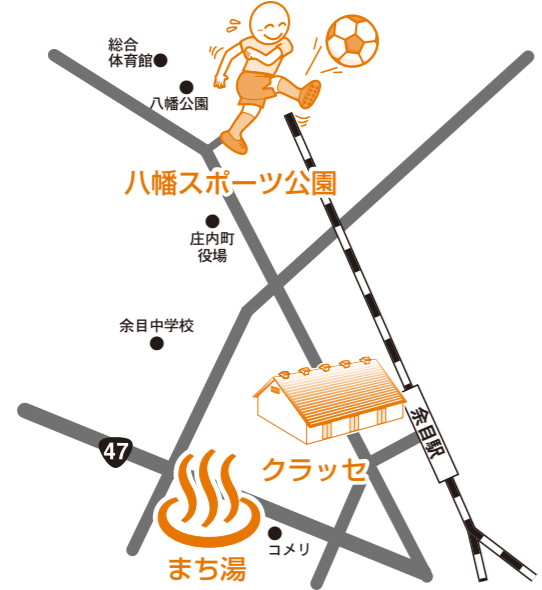
問 八幡スポーツ公園、まちなか温泉、新産業創造館各

施設の関連利用推進策について、お客様には八幡スポーツ公園で運動して汗をかき、まちなか温泉でゆっくりと汗を流し、新産業創造館を訪れお土産を買って帰って欲しいとは町長の発言である。各施設の充実とその関連、

利用、実現に向けての施策をどう考えているのか。

町長 地域高規格道路の開通により庄内町が大きな変化を遂げようとしている。こうした環境の変化がデメリットになるか、メリットになるかはこれからの振興策次第である。

この3点セットは、スポーツでの交流が図れ、温泉を通して近隣からの利用も図れる。そして、新産業創造館の6次産業としての新しい地産地消での商品開発も含めて人を呼べる。その一つひとつにだけ魅力を張り付けていけるかが、我々の役目であると考えている。



トライアングルで波及効果

17人の提言

押切のり子議員・清野 等 議員

17人の提言

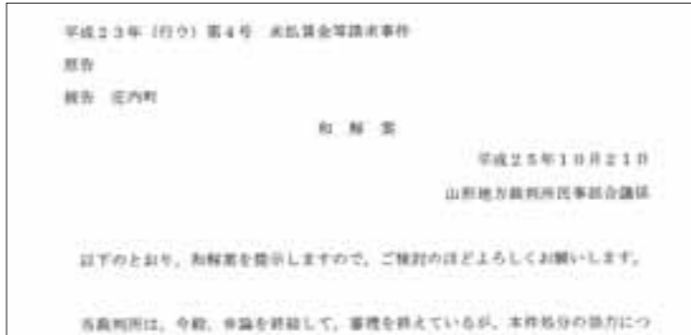
齋藤健一 議員・上野幸美 議員

和解 誠実な対応をすべき

町長 係争中である…



榎本 秀将 議員



審理を終わっていても、係争中?

新聞報道によると、町は不当な処分をしたとして「未払賃金等請求事件」で訴えられ、10月21日に裁判所から和解案が示された。裁判所は既に審理を終えた上で和解勧告をしてい…

問

新聞報道によると、町は不当な処分をしたとして「未払賃金等請求事件」で訴えられ、10月21日に裁判所から和解案が示された。裁判所は既に審理を終えた上で和解勧告をしてい…

問

係争中というのなかで、結論の出ているものを議案として上げるという事はあり得ないと思うので、そのように考えていただきたい。

町長

係争中なので答えられない。

※専決処分とは、本来議会の議決を経なければならぬ事柄について、特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕が無い場合首長が自ら意思決定すること。近年、緊急と言えない状況で、首長が恣意的に乱発する例があると批判されている。

係争中であるというのなかで、結論の出ているものを議案として上げるという事はあり得ないと思うので、そのように考えていただきたい。

町長

① アンケート結果では、本町のひきこもりの該当者は29人となっている。社会生活への参加困難に至った経緯はさまざま、複雑な問題である。

ひきこもり 専用窓口を設置せよ

町長 専門機関につないでいる



パソコンだけが、世界の窓口



石川 武利 議員

問 県は平成25年4月から5月に

県内の民生委員約2千200人に対して、住民の交流状況などに関するアンケート調査を実施した。そのなかでひき

こもり状態(社会生活へ参加が困難な若者)に対する実態が明らかになった。以下の3点について当局的考えはどうか。① 本町でのひきこもりの現状をどう認識しているか。② 検討機関と具体的な対策をどう考えてるか。③ 民間機関の支援に

こもり状態(社会生活へ参加が困難な若者)に対する実態が明らかになった。以下の3点について当局的考えはどうか。① 本町でのひきこもりの現状をどう認識しているか。② 検討機関と具体的な対策をどう考えてるか。③ 民間機関の支援に

② 現在、町としては専門の相談窓口は開設していないが、相談があった場合は保健所のひきこもり相談窓口、民間の若者サポートステーション、県精神保健福祉センターの自立支援センター「巣立ち」等につないできた。③ 民間機関への支援は、民間がどのような役割を果たせるかを含めて、これからの検討課題であると捉えている。

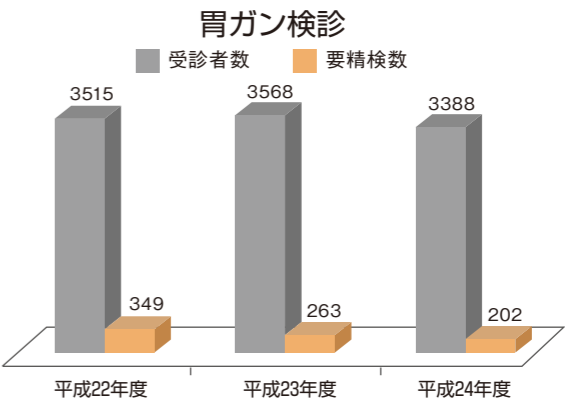
ピロリ菌検査 人間ドックに導入せよ

町長 検討をしていく必要がある



工藤 範子 議員

問 ピロリ菌を早期に除菌することで、胃ガンの発症が大幅に減少すると言われていている。このピロリ菌検査を町の人間ドックの総合健診に導入し



みんなで受けよう胃ガン検診

町長

現在、国からもピロリ菌が胃ガンにかかる主要因を占める事例が報告されている。ピロリ菌がいるか、いないかで、胃ガンにかかる可能性が3倍以上も高くなっている。ピロリ菌の検査自体は簡単であるが、その後の検査も必要だということも含めて、胃ガンあるいはガンの撲滅を念頭に置きながら、これまでも「元気で長寿のまちづくり」を進めてきた。そういった観点のなかでさらに検討をしていく必要がある。

視力低下 回復の取り組みをせよ

教委長 改善に向けて進めている



石川 恵美子 議員

問 パソコンやゲーム機、スマートフォンなどが子どもたちの日常に入り込み子どもたちの遊びは常

に眼を酷使している。高学年になると、眼鏡をかけた生徒を見ることが多くなってきた。近視の進行原因として、遺伝、生活習慣が推測される。全国的に視力低下の子どもが増加しているなか、眼球を動かす体操を導入し効果を上げている小学校もある。

教委長

教育委員会としても視力回復の取り組みとしてはどうか。

児童・生徒の視力検査を含めた健康診断の結果は、児童・生徒および保護者に通知され、場合によっては専門医の検査を受けるよう指示している。

学校では、学校保健委員会や保健だよりを通じて検査結果を公表し、視力低下の改善に向けた取り組みを進めている。



夢中でやめられない

視力低下の改善につながる要因の一つとして、テレビ、ゲーム、パソコンなどの長時間視聴使用がある。これには、幼少期からの習慣づけが大きく影響していることから、生活リズムの徹底を指導していくことが必要と考えている。

問 かけつけ医への受診時に「今朝は何を食べましたか」などと聞く事によって、認知症の早期発見につなげている市もある。



佐藤 彰 議員

また、精神保健福祉士など専門家が、チームで訪問・聞き取りし、対処法を決定し、介護、受診、サービス利用などを助言している町もある。

認知症になっても住み慣れた家や地域で安心して暮らせるまちづくり、徘徊しても安心できるまちづくりへの取り組みをどう構築していくのか。

認知症 きめ細かな対応せよ

町長 連携を図っている



余目第二小で行われた認知症サポーター養成講座

町長 本町の平成23年認知症高齢者数は859人、高齢者人口に占める割合は12.2%で、全国でも高い水準にある。

町では、地域包括ケアシステムの構築に向けてさまざまな検討、研修、支援体制づくりを努めるとともに、医療機関と意見交換をしながら、連携を図っている。

また、高齢者見守りネットワーク連絡会議で、徘徊する高齢者の早期発見イメージ図を作成した。町の危機管理係、警察、消防署、介護事業所等各関係機関にイメージ図を配布し、早期発見に向けた連絡体制をとっている。

問 町から集落等に交付している「住みやすい地域づくり活動交付金」の交付対象事業に、小型除雪



小林 清悟 議員

機整備事業がある。交付対象としてから3年になるが、いまだ1件も活用されていない。毎年、集落等が行っている生活道路除雪事業を推進するためにも、小型除雪機整備事業は重要である。現在、交付額を購入費の3分の1以内で10万円を限度としているが、活用し



有利なのに、なぜ使われないのか

町長 小型除雪機械の交付対象事業への導入に際し、参考とするため、平成22年11月に全集落を対象に要望調査を実施した。7集落から要望が出され、交付対象事業への導入が必要と結論づけた。

しかし、これまでに活用された集落がないことは、大変残念である。周知も含めて活用を促していきたいと考えている。

集落から、小型除雪機整備事業の交付要件の見直しの要望は直接受けていないところであり、現時点では見直す考えは持っていない。

小型除雪機
町長 交付金を増額せよ
見直す考えはない

ていただいていた交付事業である。交付金の増額等、見直す考えはないか。

組織機構 見直しせよ

町長 内部的に進めている



上・下水道の総合機能を持たせよ

問 平成26年度は合併10年目を迎える節目の年である。現実即した組織機構の見直しの時期ではないのか。特に、下水道事業は



村上 順一 議員

維持管理が主体となる。水道事業と一体となることで両事業に共通する総務や管理部門での行政コスト削減によるメリット、また業務の効率化、災害時の対応についても期待できるのではないかと考えている。水道事業も合わせた業務委託、統合を考える時期に来ているのではないかと。検討すべきと思うが、どうか。

町長 組織機構の見直しは、内部的に話し合いを進めている。近年、複数の課に關係する事業が増えていく。時代に合わせ、より政策を推進しやすく、また、横の連携をとりやすい組織機構になるよう前向きに検討していきたい。

下水道、農業集落排水、上水道、簡易水道の各事業の統合も想定し、調整をしている。さまざまな角度からの統廃合を含め、進めていきたいと考えている。来年からすぐにはならないが、その方向で順次調整していきたい。

夜間議会
町長 本堂にできるのか
議会側との協議いかんである



小野 一晴 議員

問 町長の提案した全日程夜間だけの議会について、3月定例会から実施した

いとのことだが、日程として何日かかるのか。日中の普段の業務において町民サービスの質を落とささないで実施できるのか。

町長 夜間議会の実施の可否は、議会側との協議いかんである。

問 われわれ議会は逃げないが、職員労働組合との調整等ができていないのか。思いつきで発言したのではないか。

町長 思いつきではない。やるという前提のなかで、どういうやり方ができるかを、しっかりと皆で話し合いをしていく。

そういう信頼関係がなければ成り立たないということである。



町長曰く 夜だけの議会は「日本初」

議会閉会中も調査活動しています

より良い町づくりのために

生かせ提言

総務
常任委員会

テーマ 婚活支援

調査事項

- コミュニティ「縁結びの部屋」
- 庄内町商工会青年部カップリング事業
- 婚活支援補助金事業

若者が恋と夢を実現できる支援を

このように提言しました(抜粋)

町の婚活支援事業

●「縁結びの部屋」は登録メンバーが少なく閉鎖すべきである。今後は、「やまがた結婚サポートセンター」の支援内容の周知を行い、会員登録の推進を図るべきである。

●カップリング事業をよりよくするため、若い感覚の企画力で参加者のハードルを低くし、多く開催すべきである。実施にあたっては、町外からの参集と、商店会、企業からの協力体制が必要である。

●婚活支援のあり方は出会いのチャンスに恵まれない人への相談支援が急務である。婚活支援サポーターが仲人役として情報提供を行い、成婚に結び付くよ

う町独自の仲人登録制度を図り、活動対価や成婚時の報酬支給なども検討すべきである。

県など広域的取り組み

●県は結婚を支援する仲人制度「やまがた縁結びたい」を設置し、広域で情報を共有し婚活サポートをしている。本町でも婚活事業の充実を図るため、県の仲人制度への登録を推進すべきである。

●広域的取り組みは県内では最上8市町村が、最上広域婚活実行委員会を設立し、年に数回の出会いイベントやスキルアップ講座を開催している。広域連携により情報提供力、集客率の高さなどがメリットとなり成果を上げて



恋人たちの願いを…恋のキューピットに託して 秋田市

いる。庄内地域でもオール庄内の取り組みを目指すべきである。

新たな取り組み

●町は結婚推進への取り組みや、行政の関わりが示されていない。

今回初めて町が事務局を担当し「街コン」が計画されたが、仲人の登録推進や、情報管理、婚活イベントへのサポートなど、総合的に取り組む専門担当者を配置すべきである。

庄内総合
高校
存続支援策は何か
町長 負担金を増額している



石川 保 議員

問 3月に響ホールで開催された「田川地区の県立高校再編整備計画に係る地域説明会」を受け、7



将来を考える三者面談

月に支援同盟会が設立された。当面5年の存続は決定したが、何も手を打たなければ定員割れを理由に廃校となることも予想されることから地域を挙げて運動しようとの主旨で設立された。同盟会に対し、町としてどのような支援策を考えているのか。

町長

庄内総合高校の振興発展のため、同校の後援会には負担金を交付し、生徒の現場実習や地域連携活動を支援してきた。平成23年度からは負担金を増額し、支援を強化している。

さらに魅力ある学校にするため、共に考え、一体となって活動していくように考えている。

問

地元からの進学率向上も鍵となる。進路指導面から、対策は講じられるのか。

教委長

庄総生が地域連携活動にまじめで積極的に参加している姿が、中学生や地域に好印象を与えており、庄内総合高校への町内からの志望者数が安定しているものと思われる。今後も地域の子どもたちが庄総生に憧れを抱くことを期待している。

公共料金
各種手数料
消費税率据え置きせよ

町長 国の基準に合わせる



日下部 勇一 議員

問 来年4月から消費税率が8%に引き上げられ、町民の暮らしに深刻な打撃を与えることになる。鳥取県の日南町は、「消費税率アップは地域



重くのしかかる消費税

経済にも影響がある。本場に公共料金などを値上げする必要があるので、便乗値上げにならないか」として、町営バス、公共料金などを現状のままにするとしている。

本町も公共料金や各種証明手数料は値上げしないで平成26年度予算編成すべきと思うかどうか。

町長 国で決めた消費税を加算しなければならぬもの、あるいは町が独自に調整を図れるものに、基本的には区分していかなければならない。また、10%になったときに、その調整を図ることができないかも含めて検討している。

国の政令などに基づいて決定している料金は、国の基準に合わせていくことになると思うが、国からの通知を受けて対応していきたい。

一般会計の歳入の内、町の裁量で決められるものは、今回は引き上げずに見送ることを基本に予算編成作業を進めていきたい。

・町の総合型スポーツクラブ準備会について
・職員の人事管理について
・教育振興計画について

より良い町づくりのために

生かさせ提言

文教厚生 常任委員会

テーマ 学童保育のあり方

- 調査事項
- 施設について
施設の設置単位・場所・安全性・整備
 - 運営について
運営主体・男性ボランティアの
関わり

これらの状況からして、学校の余裕教室の活用も必要である。

●各学区に設置を
●第四学区は第二学区の施設を利用して、児童数も増加傾向にあり、施設が狭くなっている。地域の要望も踏まえ、各学区に学童保育施設を設置すべきである。

このように提言しました(抜粋)

●第一学区・第二学区の施設は築100年以上も経っており、修繕など困難である。他の施設も安全性に問題がある。また、第一学区の施設は離れた場所にあり、通所時の安全性が課題である。立川地域は保健センターを利用して、ため、行事があれば狩川公民館に移動している。

●学童保育は多人数、長時間保育となっている。トイレなどの整備や、雨天時、冬期間の遊び場の確保も必要である。今後、施設の見直しをする際には、これらを考慮し施設整備を図るべきである。

●委託運営にあたっては、力仕事をしてくる男性ボランティアが少ないため、維持管理に困難をきたしている。地域の男性や保護者に協力を呼びかける必要がある。



ひとりよりみんなで

●全国の学童保育施設は、危機管理上からも安全確保を最優先し、余裕教室と専用施設などに、半数以上設置されている。

町も小学校、教育委員会など関係機関が連携し、学校施設の活用を念頭に、すべての学区に設置すべきである。

産業建設 常任委員会

テーマ 起業・創業支援

- 調査事項
- 起業・創業支援システム
 - 地域特性を生かした産業の振興

●起業・創業の支援施策はあるものの、利用率が低い。これは、起業する人が少ないことと、施策を知らないこととや、利用しにくいことにある。

●地方が生き残るには大規模なチェーン店や大型店にはない特性を持つことが必須である。

●地域特性を生かし、自ら物づくりすること

で付加価値を高めることが必要である。

●利益率向上のため、自分の店で作った付加価値の高い商品やサービスを提供し、競争力の強化をすることが重要である。

●本町には6次産業の振興を図るに必要な1次産品の種類が少ない。その対策として、本町の特性を生かした農作物の研究開発が必要である。



蔵を活用した店舗 米子市

人づくりとシステムの確立を

このように提言しました(抜粋)

地域全体を考えた街づくり

町の補助施策の情報を適宜紹介すべきである。

●起業・創業の適任者は、6次産業を営む女性や、現実的な事業を考える人、危機感をもった商店主である。その支援策は、人材の発掘、育成でありそれを生み出す機運の醸成をすべきである。

●6次産業による新産業の創出には、農林課と商工観光課の協力が不可欠で、連携をさらに強化すべきである。

地域特性を生かした産業の振興

産業振興で地域が生き残るには

●庄内町の特性を理解し、環境ビジネスとして、薪ストーブのある家を、トータルで販売することも考えられる。

子供たちの安全と将来のために

未来を担う子どもたち

庄内町立立川小学校 6年 齋藤 優輝くん

ぼくが今回の庄内町議会見学でわかったことがいくつかあります。

まず説明を聞いてわかったことは、議員がやっていることです。それまでは、議会を開く、ということしかわからなかったけど、お金の使い道、条例を決める、つくる、町の仕事のチェックなどとても多くのやることがあり、ここまでするのかとおどろきました。

次に実際に見てみて、まず、発言者はすごく熱心に行っていたことと、後は、学校でやる児童会に似ているところもあり、同じようなことをやっているんだなと思いました。

議会、見学させていただきありがとうございました。

庄内町立立川小学校 6年 佐藤 樹さん

私は議会を見てすごいと思ったことが2つあります。

1つ目は、こんきょをあらわにした話しあいです。なぜそう考えるのか、どうしてこのようなことがいえるのかははっきりしていたからです。

2つ目は、わかりやすく資料をもとにしていたことです。どのような表現をすればいいか、資料を見ながら説明していました。話をきくときはうなずいて、自分の意見とてらしあわせていました。とても勉強になり、社会が好きになりました。



庄内町立立川小学校 6年 池田 倫子さん

今日は、庄内町議会見学をさせていただきありがとうございました。

今日、まず最初に議会についての説明を聞いてわかったことは、議員さん達は、町のため、町民のために働いてくださっていることがよく分かりました。心に残ったのが、安全、安心、便利、幸せのため、ということです。他にもくわしい事をたくさん知ることができ勉強になりました。

次に実際に話し合いの様子を見てとてもはく力がありびっくりしました。反対意見なども自分の意見をみんなに伝えようとしていてすごいと思いました。だから、庄内町が成り立っているんだなあと思いました。本当にありがとうございました。

議会傍聴で学ぶ

庄内町立立川小学校 6年 日下 啓太くん

議会傍聴をする前の議会についての説明では議会＝児童会と説明してくれたので、とてもわかりやすかったです。

議会をする場所では議員の人が町長に質問をしていて、この質問で庄内町が変わるなんてすごいなと思いました。その庄内町を変える議事を傍聴させていただきありがとうございました。これからも庄内町をよい町にしていってください。



庄内町立立川小学校 6年 阿部 純奈さん

「どんな所だろう」私は少しドキドキしていました。トビラを開けると自分の意見を堂々とやっている人達がありました。少し「あれ？」と思った事があります。「旧清川小学校」をこわす、という意見がありました。けど、私はそのままにしてもいいんじゃないかな？と思いました。理由は、古ければ古いほどよりよい「伝統」となるからです。庄内全体を支えている議員の方々、これからもよろしくお願いします。

庄内町立立川小学校 6年 本間 穂乃香さん

私は議会をする理由がわからなかったけど、最初の説明を聞いて、私たちが幸せにすることができるようにすることだと知って、町の人のことを考えてやってくれているんだなと思いました。

議場に入ってみたら、議員さんが自分から手を挙げて意見をしていました。町長さんもすぐに手を挙げて意見を言っているのがすごいと思いました。私は普段、自分から発表はなかなかできないので、議員さんや町長さんのように意見が言えるようになりたいです。

12月12日、午前中立川小学校6年生(54人)のみなさんが授業の一環として議事を傍聴しました。町当局と議員の激しい議論をまじめにメモをとるまなざしは、真剣で頼もしく、ほほえましい光景でした。

また、12月13日、庄内町栄寿大学(17人)、社会福祉協議会(14人)等、多くのみなさんが議事を傍聴しました。

立川小学校からは、児童ひとりひとりが学んだことや感想を議会によせていただきました。その一部をご紹介します。

